

第1回 足羽川河川空間利活用促進懇談会 議事概要

日 時：平成20年8月5日（火）

場 所：AOSSA601会議室

出席者：別紙資料参照

○ 事務局より足羽川の整備状況等について説明。その後、河川敷及び水辺空間の利活用を主要テーマとする2つの分科会に分かれ、各分科会座長のコーディネーターで意見交換を行った。

○ 委員からの主な意見

(1) 木製堰について

床固めの必要性については理解されたが、県が提案した木製堰の案には賛否双方の意見が出された。ただし、堰がそもそも不要という意見はなかった。

委員の主な意見は以下のとおり。

- ・ 堰によって生み出された水面はどのように活用されるのか。カヌー協会やコンベンション協会などの考えも聞きたい。
- ・ 設置や撤去の費用を地元で負担するのは難しい。県が提案している組み立て式ではなく、恒久的な構造とすればどうか。あるいはラバー堰とすることは考えられないのか。
- ・ 堰を設置する位置は、九十九橋よりもっと下流のほうがよい。
- ・ 組み立て式の堰とした場合、部材を保管しておく場所が必要となる。部材の保管についてどのように考えているのか。
- ・ 堰の設置期間が1～2週間というのは短すぎる。
- ・ 堰によって河川の上下流が分断されるので、魚道など生態系に対する配慮が必要。

(2) 鉄砲水や増水に対する安全性の確保について

神戸市で発生した河川内の事故を踏まえて、足羽川の親水空間の整備でも安全性を確保することが必要との意見が複数の委員から出された。

(3) その他の意見

- ・ 東安居地区で行われている「菜の花ロード」を下流へ延ばしていきたい。
- ・ 遊歩道の両脇に花があればよい。区間毎に異なる種類の花を植えてはどうか。
- ・ 雑草が生い茂らないような手入れや、ゴミの対策を考えてほしい。
- ・ ラジオ体操や魚釣り大会などのイベントの場として、河川敷をもっと活用することはできないか。整備や維持管理についてもイベントで活用する側の意見を聞いてほしい。
- ・ ワンド等は子どもが近づけるようにしてほしい。
- ・ トイレをもっと設置したほうがいい。
- ・ 川を渡ることができる舟橋を設置したらいいのではないか。
- ・ 堤防上の照明の設置を要望する。
- ・ 緩い傾斜の護岸で遊ぶ児童の安全性を確保することが必要ではないか。
- ・ 船着場などに水コケが生えて滑りやすくなっている。
- ・ バスなどの駐車場が無いので、高水敷が利用できないか。
- ・ 県外からの観光客をもてなす意味で、JR 橋近くに噴水が整備できないか。

(4) 分科会終了後の報告における福原会長のコメント

- ・ 河川管理者と河川を利用する方が手をつないで、息の長い活動に取り組んでいくことが重要な課題である。
- ・ 福井の個性を生かした川づくりを目指す意見が、この懇談会の中で出てくればおもしろい。委員の方々には個性ある意見を出していただき、福井ならではのアイデアが検討されることを期待する。

○ 今後の予定

- | | |
|-----------|-------------------|
| 8月27日(水) | 分科会(意見交換) |
| 9月9日(火) | 全体会議(意見集約) |
| 10月18日(土) | パネルディスカッション(意見発表) |